

デジタルヘルスケア開発・導入加速化事業
事後評価結果

1. 補助事業課題名 : SaMD を用いた感染症検査の時短化とタスクシフティングの
経済効果測定研究
2. 補助事業代表者氏名（所属） : 沖山 翔（アイリス株式会社）

<評価コメント>

nodoca の導入インセンティブに資するデータ収集を目的とした調査研究を実施し、計画以上のデータを収集、解析を完了したことを評価する。本研究で nodoca を用いたインフルエンザ検査は従来の抗原検査キットによる検査と比較して、時短、医療従事者の感染リスク減や経済的価値の創出に有用であることをデータとして示せたことは、今後の事業展開に極めて価値がある。

以上